

## 平成19年度 第2回倉敷市環境審議会

日時 平成20年1月17日(木)10:00~

場所 倉敷市水道局庁舎 3階 大会議室

### 1 開 会 あいさつ

### 2 報 告

#### (1) 倉敷市環境白書について

倉敷の環境白書 平成19年度版(冊子)

#### (2) 倉敷市緑の基本計画について

ひと、輝くまち 倉敷。水と緑のシンフォニー計画(冊子)

#### (3) 倉敷のいわれのある井戸・湧水

資料

### 3 その他

### 4 閉 会

平成20年1月17日

環境部環境政策課

## 倉敷のいわれのある井戸・湧水事業の公表及び新規選定について

## 1. 倉敷のいわれのある井戸・湧水事業の目的・背景について

本事業は、倉敷市環境基本計画（改定版）において、重点施策である「恵み豊かな水環境の保全」を推進していくため、市内のいわれのある井戸・湧水事業についてホームページ等を通じて紹介していくことを挙げています。また、市内の由緒ある井戸や湧き水を顕彰し、「水の恵み」の啓発に努めることで、市民の方々に井戸や湧き水に対して関心をもっていただき、改めて水の大切さを感じ、地下水の保全を行っていくことを目的とします。

## 2. 倉敷のいわれのある井戸・湧水事業（倉敷の名水20選）の実施経緯について

- (1) 「倉敷の名水20選」として、広報くらしき・新聞・ラジオ・環境政策課ホームページ等を通じて、井戸や湧き水情報の募集を行いました。
- (2) 市民の方々から集った情報及び書籍から調べた情報を基に井戸の所在や状態の調査を行い、調査結果をまとめました。
- (3) 調査結果等を基に、平成14年度第2回環境審議会において、16箇所の井戸・湧水が選定されました。
- (4) 16箇所の井戸・湧水において実施された水質調査の結果、飲用に適さない井戸・湧水が確認されたため、「倉敷の名水20選」の公表を控えていました。

## 3. 倉敷のいわれのある井戸・湧水事業のホームページへの公表について

選定された16箇所の井戸・湧水について、所有者の了解を得られたものから順次、環境政策課ホームページへ公表しています（平成19年10月23日公表）。

・環境政策課ホームページアドレス：

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kkanpo/seikatu-kankyo/sizenho/meisui/index.html>

## 4. 倉敷のいわれのある井戸・湧水の新規選定について

市民の方々から推薦等の情報が寄せられた、次の2箇所の井戸・湧水について、調査を行い、別紙のとおり調査結果をまとめました。

- |                          |      |    |
|--------------------------|------|----|
| (1) 蘇良井戸（倉敷市有城）          | 整理番号 | 6  |
| (2) 吉備真備公産湯の井戸（倉敷市真備町箭田） | 整理番号 | 51 |

## 5. 今後の事業推進について

- ・ホームページへの公表について、所有者の了解の確認及び追加調査を行います。
- ・新たに井戸・湧水について情報が寄せられた場合は、新規認定に向け調査等を行う予定です。

## 倉敷のいわれのある井戸・湧水 一覧

(平成14年度 第2回 環境審議会において選定。)

No.	所在地	所在する土地の種類	井戸の名称	水質結果	保存の状態	備考
1	曾原(清田八幡宮内)	民有地	八幡様の井戸	飲用不可	良	この井戸は、清田八幡宮の神井である。
2	連島町亀島新田	民有地	不明	飲用不可	良	酒造りの仕込みに使用していた井戸である。
3	連島町西之浦	民有地	不明	飲用不可	良	酒造りの仕込みに使用していた井戸である。
4	連島町矢柄	不明	大井戸	飲用不可	良	地域の共同井戸として使用・管理している井戸である。
5	船倉町(教善寺内)	民有地	遠州井	飲用可能	良	かつて、この地を治めていた小堀遠江守が、茶事に使用したと伝えられる井戸である。
6	玉島乙島泉谷	不明	不明	飲用不可	良	地名である「泉谷」も、この泉に由来する。
7	連島町西之浦	民有地	不明	飲用可能	良	地域の共同井戸として使用している井戸である。
8	玉島3丁目(円乗院近く)	不明	新川の大井戸	飲用不可	良	地域の共同井戸として使用・管理している井戸である。
9	児島稗田町	民有地	不明	飲用不可	良	酒造りの仕込みに使用していた井戸である。
10	六口島	民有地	不明	飲用不可	良	岡山藩の防人として、赴任した方が代々使用した井戸である。
11	中帯江(不洗観音寺内)	民有地	不洗観音の關伽水	飲用不可	良	不洗観音様のお告げにより、湧き出たという霊水である。
12	児島唐琴町	不明	天神の井戸	飲用不可	良	九州へ向かう菅原道真が、汲んだと伝えられる井戸である。
13	二日市(法輪寺近く)	不明	小野小町姿見の井戸	飲用不可	良	小野小町が悪瘡を病み、毎日、鏡として姿を見たと伝えられる井戸である。
14	下津井1丁目	不明	鶴井戸、亀井戸など	飲用不可	良	地域の共同井戸として使用・管理している井戸である。
15	玉島乙島水溜(六宝荒神社近く)	不明	旭井	飲用不可	良	かつて船人たちが立寄り、飲み水として使用したと伝えられる井戸である。
16	二子	不明	深井の井戸	飲用不可	良	神功皇后が九州からの帰途、飲用されたと伝えられる井戸である。

下津井1丁目は下津井の共同井戸群として、4ヶ所を1ヶ所にまとめて選定。

## 新たに推薦等の情報が寄せられた井戸・湧水 一覧

No.	所在地	所在する土地の種類	井戸名称	水質結果	保存の状態	備考
17	有城	民有地	蘇良井戸	調査中	良	詳細については、別紙(整理番号6)参照。
18	真備町箭田	公有地	吉備真備公産湯の井戸	調査中	良	詳細については、別紙(整理番号51)参照。

倉敷のいわれのある井戸・湧水事業 調査表

整理番号

6

井戸の名称	蘇良井戸(そらいど)
所在地	有城
所有者	個人
水質・水量	この井戸の水は湧水である(水質分析調査については、現在調査中である)。
景観・親水性等の 周辺環境	井戸には、転落防止のため竹作りのふたがされているが、近くまで近づくことができる。また、井戸周辺は花崗岩の割石が敷かれており、井戸の傍らには、源平藤戸の戦い800年祭(1984年)の際に、藤戸史跡保存会により蘇良井戸の石碑が建てられている。
地域等での 保全活動	有城及び藤戸町周辺には、源平藤戸の戦い(1184年)の史跡が多く、地域の方々や保存団体等により大切に保存されている。この蘇良井戸も源平藤戸の戦いの史跡の一つであり、他の史跡同様に地域の方々の保全活動により保全されている。 また、蘇良井戸の傍らには、源平藤戸の戦い800年祭の際に、藤戸史跡保存会によって石碑が建てられている。 詳しい内容については、郷土史である有城郷土史にも記載されている。
いわれ・故事来歴	この井戸は源平藤戸の戦いで有名な佐々木盛綱が、先陣の功を立てるに先立ち、かねて地元の漁夫から聞いていたこの井戸に立ち寄り、水を飲んだという井戸と伝えられている。 また、1184年の源平藤戸の戦いの際に、御崎神社(おんざきじんじゃ)に布陣した源範頼率いる2万5千の源氏方兵士たちが、飲み水として使用していたと伝えられている。 この井戸は、藤戸の戦い以前から地元の住民が生活用水として使用していたと伝えられている。
利用状況	現在も地域の方々に使用されている。また、近世・現代を通じ、湧水により飲み水に困った新田地区の住民に利用された。
現地調査	
調査内容	井戸には蓋がされているが、井戸内には豊富な水があった。また、井戸の傍らにはバケツも置いてあり、井戸として使用しているようである。井戸の横には、石碑があり、藤戸史跡保存会と記してあった。現在、井戸には蓋がしてあり鍵がかかっている。
備考	井戸の名の蘇良について、文献には有城地区の一番高い場所に井戸があることから、「空(そら)」と呼んでいたのを「蘇良(そら)」と当てたのではないかと記してある(出展 岡山の名水)。

倉敷のいわれのある井戸・湧水事業 調査表

整理番号

51

井戸の名称	吉備真備公産湯の井戸(きびのまきびこうぶゆのいど)
所在地	真備町箭田
所有者	不明
水質・水量	この井戸の水は湧水であり、透明度が高く、水量は豊富である(詳細な水質分析調査については、現在調査中である)。
景観・親水性等の 周辺環境	井戸は、吉備真備公の遺徳を偲び吉備真備公産湯の井戸として整備されている(平成2年3月完成)。井戸周辺には、吉備真備公産湯の井戸を見学等に 来た方々のための駐車場も整備されている。 現在のように整備される前にも、地域の方々により石積みの井筒や屋根が整備されており、井戸の西側から誰でも井戸水を飲んだり汲めるようになって いた。 また、道路を挟んで東側には吉備真備公の館が建てられていた吉備真備公館址がある。
地域等での 保全活動	この井戸は、現在のように整備される前、地域の方々の手により石積みの井筒や井戸を覆う屋根が整備され、保全活動がされていた。 また、現在も地域の方々により井戸の保全活動等が行われている。
いわれ・故事来歴	吉備真備公が生まれる前夜に、館のそばの井戸へ星が落ちたので星の井と呼ばれるようになった。この井戸の水が、吉備真備公の産湯に使われたと 伝えられていることから、吉備真備公産湯の井戸と呼ばれる。
利用状況	吉備真備公産湯の井戸は歴史的にも有名であり、この井戸を訪ね近隣市町村はもとより、県外(四国等)から井戸を見に来たり水を汲みに来る方がい る。 また、この井戸は現在も地域の方々により利用され、井戸周辺の地域では庭木の散水等に井戸の水を使用している。
現地調査	
調査内容	井戸及びその周辺は、吉備真備公産湯の井戸として整備されていた。井戸には、鍵が施錠されていたため、井戸外形の測定及び写真撮影を行った。
備 考	箭田地域では、各家庭に井戸を持っていたが、井戸水が"かなけ水"(鉄分が多い)のため洗った鍋などが赤茶色になり困っていた。そこで、水質の良好 な吉備真備公産湯の井戸を地域の方々には、生活用水に使用し、上水道が整備されるまでは飲用にも使用されていた。 吉備真備公産湯の井戸は、旧真備町(現 真備支所・産業課)が平成元年度に整備事業を行った。